



大阪大学医学部から誕生

がん遺伝子検査

保有遺伝子からみた各疾患のリスクを予測

サインポスト「がん遺伝子検査」は、がん予防を目的とした検査です。

男性12項目/女性14項目のがんに関連する100種以上の遺伝子を測定します。

「がんを起こしやすい遺伝子」を解析し、保有遺伝子からみた各がんの総合的リスクを判定するとともに、がんのリスク低下を目指した「生活習慣」の注意点や改善方法をご提案し、早期発見のための検査についてもお伝えいたします。

測定疾患名(男女別)

男女共通11項目

- 胃がん
- 食道がん
- 脳腫瘍
- 大腸がん
- 膵臓がん
- 膀胱がん
- 肺がん
- 腎細胞がん
- 白血病
- 肝臓がん
- 胆のうがん

女性計 **14** 項目

- 乳がん
- 子宮頸がん
- 卵巣がん

男性計 **12** 項目

- 前立腺がん

報告レポートイメージ

各がんリスクの総合評価

遺伝子から見たあなたのリスク(注意レベル)は **要注意レベル**

膵臓がん
あなたの膵臓がんのリスクは高めで、あなたは、膵臓がんになりやすい遺伝子を多く保有しています。

- 注意すべき人
膵臓がんは早期発見が困難ながんです。膵臓がんには、糖尿病、膵炎、胆石症、喫煙が関連しますので、これらの病気の方は注意が必要です。
- 生活指導
40代以降で突然糖尿病が発症した人や、糖尿病が悪化したときは、特に注意が必要です。
- 禁煙
膵臓がん、肉食などの食生活の乱れは、膵臓がん、膵炎などを引き起こし、膵臓がんのリスクのあがります。食生活の改善を強くおすすめします。
- 検査
膵臓がん、膵炎、胆石症などの人は画像検査(腹部エコー検査)を定期的にされることをおすすめします。



注意すべき生活習慣・感染/疾患を表示

測定遺伝子(膵臓がんに関連する遺伝子) ☆遺伝子に対応したアドバイスを表示

遺伝子修復	がん増殖	がん感受性
BCAR1	★ MTRR(2) ★ NR5A2 PDX1	LINC-PINT MIR1208 ZNF93
がん細胞死	喫煙者関連	
TERT(2)	★ XRCC1(2)	

膵臓がん

説明
●患者数
2018年の膵臓がんの患者数の予測数は、男性は2万200人、女性は1万9800人で部位別では6位です。
●症状
膵臓がんの早期はほとんど症状がありません。進行すると、胃のあたりや背中が重苦しい、お腹の調子が悪い、食欲がない、尿の色が濃くなる、身体や白目が黄色くなる、などの症状が現れます。

患者数・症状の説明

アドバイス

腹部CT検査や腹部MRI検査を受けましょう
あなたは膵臓がんの増殖が速みやすい「NR5A2遺伝子」を保有しています。膵臓がんは無症状で進むことが多く見つかりにくいがんです。腹部CT検査や腹部MRI検査を受けることをおすすめします。



膵臓がんリスク低減に緑黄色野菜
あなたは膵臓がんの増殖が速みやすい「MTRR(2)遺伝子」を保有しています。葉酸を含む緑黄色野菜の摂取を増やすことで、増殖を抑えるようにしましょう。



喫煙による膵臓がんの増殖リスクが高めます
あなたは喫煙による膵臓がんの増殖が速みやすい「XRCC1(2)遺伝子」を保有しています。禁煙がリスクが下がりますので、禁煙が必要です。



遺伝子検査に基づいたアドバイスをイラストを交えて解説

糖尿病と膵臓がん

糖尿病患者の場合、糖尿病ではない人と比べて膵臓がんは1.85倍がんを発症するリスクが高くなっています。また、40代以降で急に糖尿病と診断された場合は、膵臓がんの発症を疑い、検査を受けましょう。

慢性膵炎と膵臓がん

慢性膵炎は膵臓がんの危険因子です。慢性膵炎の診断から20年以内に約4%の患者が膵臓がんを発症すると推定されています。成人の慢性膵炎の70~80%はアルコール依存症と関連しますので、アルコール依存症の人は、膵臓の定期的な検査が必要です。



がん予防と早期発見のために

5つの生活習慣を実践することで
がんになるリスクが低くなります



早期発見のための検査をアドバイス

【検査の目的】
体の様々な臓器のがんは、がんになりやすい体質(遺伝子リスク)の人が、よりやすい生活習慣を継続することにより、がん発症20年未満の発症が予測されています。発症しないうちに、がんの発症にはさまざまな原因があり、家族性がん以外では発症しやすい人による生活習慣や血液検査だけで診断することは困難です。今後はがん遺伝子検査は、特にアジア人に多いとされる14種のがんの「胚系発症しやすい遺伝子」を解析し、発症にまつ遺伝子リスクの個人発症傾向に合わせた、がんのリスクを下げ「生活習慣」を提案するものです。生活習慣の改善以外に早期発見を目指す検査も必要です。

【あなたのがんのリスクとがん早期診断の検査と頻度一覧】
あなたの遺伝子リスクや検査からみた発症リスク(「がん」)は、(※)を参照してください。(最大)まで(検査)

	膵臓	乳がん	大腸がん	肝臓がん	膵臓がん	胆のう	膵臓がん	膵臓がん	膵臓がん
要注意					●	●	●	●	●
注意					●	●	●	●	●
平均的	●	●	●	●	●	●	●	●	●

膵臓がん検査頻度表

検査項目	膵臓がん	胆のう	膵臓がん	膵臓がん
膵臓CT/MRI検査(年1回)	●	●	●	●
膵臓MRI検査(年1回)	●	●	●	●
膵臓エコー検査(年1回)	●	●	●	●
膵臓がん遺伝子検査(年1回)	●	●	●	●
膵臓がん遺伝子検査(年2回)	●	●	●	●
膵臓がん遺伝子検査(年3回)	●	●	●	●
膵臓がん遺伝子検査(年4回)	●	●	●	●
膵臓がん遺伝子検査(年5回)	●	●	●	●
膵臓がん遺伝子検査(年6回)	●	●	●	●
膵臓がん遺伝子検査(年7回)	●	●	●	●
膵臓がん遺伝子検査(年8回)	●	●	●	●
膵臓がん遺伝子検査(年9回)	●	●	●	●
膵臓がん遺伝子検査(年10回)	●	●	●	●

● あなたの遺伝子リスクからみた発症リスク ● 必要検査 ● 必要検査 ● 必要検査
● 膵臓がん遺伝子検査(年1回) ● 膵臓がん遺伝子検査(年2回) ● 膵臓がん遺伝子検査(年3回)
● 膵臓がん遺伝子検査(年4回) ● 膵臓がん遺伝子検査(年5回) ● 膵臓がん遺伝子検査(年6回)

※国立がん研究センター: https://epi.ncc.go.jp/files/11_publications/Can_prev_A5booklet.pdf